

紫外可視近赤外分光光度計

株式会社島津製作所製 SolidSpec-3700



分光光度計は、半導体・薄膜・ガラス材料・吸収材などの固体試料に光を入射したときの透過率、反射率測定を行う装置です。また液体試料の測定も可能であり、溶液濃度の定量測定も行えます。本装置は、紫外から近赤外までの幅広い波長域に対応しています。

積分球による測定は光の偏光や散乱があっても精度良く測定できる利点があるため、通常の測定ではφ60mmの積分球を使用します。また各種付属品を取り揃えており、用途に応じて、以下のオプションを使用することも可能です。

仕様

●測定波長範囲	直接受光ユニット使用時	:190~3300nm
	φ60mm積分球使用時	:240~2600nm
	φ150mm積分球使用時	:250~2100nm
	自動可変角測定機能使用時	:250~2100nm
●測光方式	ダブルビーム測光方式	
●分光器	グレーティング・グレーティング形 ダブルモノクロメータ	
●検出器	光電子増倍管(190~1000nm)	
	InGaAs検出器(700~1800nm)	
	PbS検出器(1600~3300nm)	

●直接受光ユニット



積分球を使用した測定では光の損失が大きいため、感度を重視した測定を行う場合には、直接受光ユニットを使用します。主に液体試料やフィルム試料の測定に用います。

●超大型試料室



幅700mm×奥行560mm×高さ40mmまでの大型試料の透過測定が可能です。

●大形偏光子

偏光特性の影響を受けずに、入射角の大きい場合の絶対反射率を正確に測定するための付属品です。

有効径 :20mm

波長範囲:250~2300nm



●積分球(φ150mm)

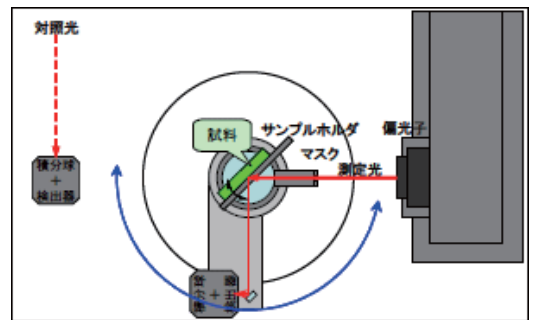
JIS K7136に準拠したヘーズ測定を行う際に使用します。

●自動可変角測定機能

入射角および受光角の範囲と間隔を、それぞれ独立に任意に設定し、自動的に測定することができます。任意の入射角での絶対反射率測定、透過率測定、散乱光角度分布の測定などが可能です。

絶対反射入射角 :5°~70°

透過受光角 :0°~90°



(注)写真及び図表は(株)島津製作所SolidSpec-3700カタログおよびホームページから引用しました。

使用料・手数料

- 設備使用:1時間 720円[紫外可視近赤外分光光度計]
- 依頼試験:1スペクトル 1,420円[紫外可視近赤外分光光度計による測定]
- 1スペクトル 350円[紫外可視近赤外分光光度計による追加測定(自動可変角度測定機能)]

www.pref.yamanashi.jp/kougyo-fj/

YAMANASHI PREF. FUJI INDUSTRIAL TECHNOLOGY CENTER

〒403-0004 山梨県富士吉田市下吉田2095 TEL:0555-22-2100 FAX:0555-23-6671 Dial-in 総機部:0555-22-2101 機械電子部:0555-22-0944



山梨県富士工業技術センター